



横浜訓盲学院 だより

第28号 (2013年7月号)

2013年6月24日発行

〒231-0847 横浜市中区竹之丸181番地 URL : <http://kunmou.jp/>

事務部

TEL:045-641-2626 FAX:045-641-2627
E-mail : jimou@kunmou.jp

普通部

TEL/FAX:045-662-1710
E-mail : futsuu@kunmou.jp

理療科

TEL/FAX:045-662-1833
E-mail : riryuu@kunmou.jp



自ら考え自ら選択すること

学院長 中澤 恵江

学院の教育では、一人一人の力に応じて、「自ら考え、自ら選択し、その結果を自ら感じる」機会を大切にしています。例えば、自分が飲みたい飲み物を選ぶこと、形の区別を勉強しているときに見本と同じ形の木片を自分で考えて選びその正否が自分でわかるようにすること、クラブ活動をいくつか体験して迷いながらも一つを選んでいくこと……こうした日々の積み重ねが、自ら考え、自ら選ぶ力を育てていきます。しかし、「選択させる」気持ちが教師に芽生え、子どもに対して一方的なコミュニケーションが始まるとき、これらの機会には逆の効果をもたらします。同様な負の結果は、選択すべき活動が乏しかったり、選択肢の意味がわからない場合も生じます。つまらない、意味の分からない、強制的な状況に対して、子どもが「NO」を伝えられるように育てていくこと、そしてそれに気付いて工夫できる教師を育てていくことは学院の重要な課題です。

今年5月、成年後見人が付くと選挙権を自動的に失うとした公職選挙法が改正されました。今夏の参院選から適用されることとなり、知的障害、精神障害、認知症のある人たちを中心に、約13万6千人に上る人々が選挙権を回復し、投票できることになりました。

子どもたちが自ら考え、自ら選択できる土台をこれからも学院の日々の実践を通して積み上げていきたいと思えます。



「あなたがたも愛によって歩みなさい。」

エフェソの信徒への手紙5章2節

(たくさん愛された子どもは、豊かな愛に生きることができるのです。)

《7月の聖句》



4月8日

◎25年度入学式◎

4月8日(月)に横浜訓盲学院の入学式が執り行なわれました。今年の桜は早く、3月の末には既に満開を向かえ、入学式の頃は新緑に囲まれていました。

平成25年度は幼稚部へ4名、小学部へ1名、高等部へ1名、専攻科生活科に1名、理療科へ4名の新入生・編入生が入学しました。新しい希望と期待を持ちながら入学されたことでしょうか。あどけない幼児から理療科の大人の生徒さんまでが、一緒に集う入学式。ここまで年齢差の開きの大きい入学式もなかなかないことでしょう。

当日は学院らしい手作りの紅白のお花が講堂を飾り、折り紙で作られた輪飾りが入り口を飾りました。入学式の当日、わたしは最前列に幼稚部の新入生と保護者の方々と一緒に座って、背筋の伸びる心新たな今年度のスタートを感じました。今日から始まる新しい年度、今日の緊張感と希望を忘れずに一日一日を大切に送りたいと願いました。

(幼稚部教諭 吉田育子)



5月1日

◎高等部普通科遠足◎

5月1日(水)に磯子にある氷取沢ファミリー牧場に行ってきました。

全員でスクールバスに乗り、歌を歌ってレクリエーションを楽しみながら現地に向かいました。牧場内ではアルパカやうさぎに触ったり、えさをあげたりしました。動物との触れあい体験後、生徒たちに感想を聞いてみると「フワフワしてた。」「緊張した。」「首をなめられました。」等々。

お昼は牧場内のウッドデッキで、おいしいお弁当やおやつを食べ、午後からは牧場付近を散策しました。帰りは市バスと電車に乗って帰ってきましたが、最近新しくなった山手駅を利用できたことが嬉しかった生徒もいたようで、生徒たちそれぞれがいろいろな思い出を作ることができました。

当日を迎えるまでは、ギリギリまで雨の心配をしたりといろいろなことがありましたが、みんなで元気に行ってくることができ、一日を通してそれぞれが楽しい時間を過ごすことができました。保護者の方々、準備等ご協力いただきありがとうございました。



臨床実習のご案内

当学院では授業の一環として、あんま・マッサージ・指圧および、はり灸の臨床(治療)を行っています。是非ご利用下さい。



★あんま・マッサージ・指圧・はり灸…水・木・金曜日

料金 一律 1000円

時間 前半 9:50～
後半 10:50～
(各50分ずつ)

◆ご予約はお電話で!
当日の朝 8:45～9:10
電話 090-9009-5882
◆お問い合わせは理療科まで
電話 045-662-1833

思うツボ

触れて育てることの重要性

私たちは古くから身体に良いとされる行いを両親・祖父母から受け継ぎ、日常生活の中で、自然に取り入れてきましたが、現代においてはそのどれもが「なぜ体によいと言えるの?本当に効果があるの?」といった科学的な実証が難しくなったりするなど、古い養生法が廃れていく傾向にありました。かつては鍼やあん摩も、そのような傾向を辿った一つでした。

しかし、近年、科学が更なる発展を遂げ、それらの疑問は同じ科学によって実証されつつあります。「子どもが小さいうちは、なるべく触れて育てることは良いことだ」。このような一説も、実証されてきています。

最近の皮膚科学によると、皮膚は「もう一つの脳」という考えがあり、皮膚の細胞が脳と同じホルモンを出したり、光や色までも認識することができるということが証明されてきています。また、これらのホルモンは喜びやコミュニケーションに関係し、人が社会で生きる上で他者との関わりをもち、助け合い、より質の高い生活を送るために、なくてはならないものです。

皮膚を優しく撫でられて育った子どもは、このようなホルモンを出すことができ、心が穏やかで優しい大人になっていくのは、必然かもしれません。子どもに愛情をもって優しく撫で育てることの重要性は、ここでも実証されたのです。

愛情いっぱい育てられた人は、自分の子どもも同じように育てます。正の連鎖は絶やさず継承していき、また、更に増やして、社会全体を優しいものにしていくことが大切なのです。

小中グループ11名、
行ってきました!

5月15日

◎こども宇宙科学館◎

5月15日(水)遠足でこども宇宙科学館へ行ってきました。天候にも恵まれ、児童生徒そして引率する教員達も足取り軽く、スクールバスへ。馴染みあるバスのため、車中で行う今日の日程確認も落ち着いてできました。

みんなで行った確認事項は、昼食時間までは三班に別れて活動すること、昼食後は館外で活動することの2つ。同じ班の友達を確認し終えたときに到着し、複数校の児童たちで混み合う館内でしたが、それぞれのブースを班ごとにゆっくり楽しむことができました。どの児童生徒にも人気のあった遊具は、空気圧で宙に浮くボール、宇宙空間での作業体験ができる空間移動ユニット、鏡に映った自分と握手をしているように見える握手ミラーでした。

色々な遊具の前で驚き、そして笑顔を見せた11名は、学院に戻るバスの中でも笑顔が絶えることはありませんでした。



5月25日

◎運動会◎



5月25日(土)、晴れやかな天候の下、平成25年度の運動会が行われました。カラフルなマントをひるがえし、かっこいい演技を披露した幼小グループ、頭に

大きなリボンと背中に「つけまつ毛」をつけた衣装が印象的だった小中グループ、息の合った動きをみせた普通科の組体操、独自の体操を行った生活科、ムカデ競争で日頃のチームワークの良さを見せてくれた理療科、今年度もそれぞれのグループが練習の成果を十二分に発揮することができ、会場を盛り上げました。鉄線走では、生徒達が白熱した競争をみせてくれました。応援に来て頂いた方々、暖かい声援ありがとうございました。



25年度の主な行事予定

- 7月 12日(金) 理療科解剖見学
22日(月)~8月23日(金) 夏休み
- 8月 26日(月) 授業開始
- 9月 18日(水) 普通部 遠足
19日(木) 生活科デイキャンプ
26日(木) 創立記念日(創立124周年)
- 10月 9日(水) 前期終業式
10日(木)~11日(金) 秋休み
15日(火) 後期始業式
19日(土) 学校開放(マリンバ演奏会)
25日(金) 高等部普通科 秋の遠足
25日(金)~26日(土) 生活科研修旅行
- 11月 1日(金) 保護者参観日
16日(土) PTAバザー
27日(水) 普通部 マラソン大会
- 12月 7日(土) 普通部 第1次入学検定
14日(土) 神奈川県盲学校サウンド・テーブルテニス大会
20日(金) 理療科生徒会クリスマス祝会
21日(土) クリスマス祝会
25日(水)~1月7日(火) 冬休み



視覚障害 知識

誘導の基本

もし街中で視覚障害者を誘導することになったら、どうしたらいいでしょうか?

腕をひいたり、手をつないだりして誘導する姿を時々見かけますが、実は基本の形があるのです。まず誘導者は視覚障害者の左右どちらかの半歩前に立ちます。すると視覚障害者は肘を直角に曲げて、誘導者の腕を軽く握ります。そこから声をかけて歩きはじめてください。交通量が多い道路、駅のホームなどの危険な場所では誘導者は視覚障害者が安全な側を歩けるような配慮をしてください。また、2人分歩ける幅の確保、頭上に危険なモノがないか等の確認をお願いします。

階段では階段に対し直角に近づいて、いったん止まり、「昇り(降り)階段です。」と一言声をかけてから、誘導者が一段先に昇って(降りて)いくようにします。階段が終わったら同様に立ち止まり声をかけてください。昇降中は二人のリズムが乱れないように歩くことがポイントです。

最後に…。すべての視覚障害者が誘導の訓練を受けているわけではありません。誘導者がその場の状況をしっかりと見て臨機応変に対応してください。

2012年度(平成24年度) 賛助金・寄附金並びにご招待の御礼

平素より、本学院の視覚障害教育にご理解ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

平成24年度(平成24年4月1日～平成25年3月31日)における皆様からの賛助金・寄附金並びに各種ご招待は、下記の通りとなりましたので、ご芳名を掲げ感謝申し上げますとともに御礼申し上げます。

〔賛助金〕ご芳名

(個人)

(50音順、敬称略)

秋山修一(秋山眼科医院)、楠木勇、荒井勝彦、池迫直人、石井和子、石田早苗、丸太孝、伊藤顯司、伊藤博信、今村劇太、今村朋子、今村美保、榎並とし子、江藤潔、越猪勝弘、大崎寛、小笠原啓、沖野佳子、北村光之、久保寺淳夫、久保寺好夫、小岩井秀子、古賀裕子、小林誠治、斎藤幹一、齋藤忠行、斎藤龍二、柴田寛昌、柴田昌一、新藤啓二、新藤有美子、鈴木操、相馬千鶴子、高橋常男、嶽澄夫、田中房子、土屋博、巖藤梅吉、殿岡時仲、中澤恵江、ハービン恵子、ハービンデリアス、長谷川光正、塙将一、早川勝男、早水利行、藤森和子、古旗誠、細田道子、本間善一、前島一仁、正岡幸伸、武藤嶺子、村瀬統一、孟学琳、森田厚、森谷すみ、森脇亜由美、矢島保道、安寛、矢野榮子、矢野豊、矢部雅文、山科俊子、山中大治、山中正子、山中幸也、山本恵美、山本文子、楊和長、吉見葦歩、依田康子、匿名

(教会関係)

キリスト教保育連盟神奈川支部、基督兄弟団横浜教会、チャーチ・オブ・ゴッド川崎キリスト教会、日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団篠原教会、日本ルーテル教団戸塚ルーテル教会、日本基督教団大塚平安教会、日本基督教団鎌倉教会、日本基督教団久里浜教会教会学校、日本基督教団清水ヶ丘教会、日本基督教団新丸子教会、日本基督教団西千葉教会、日本基督教団藤沢教会、日本基督教団本牧めぐみ教会、日本基督教団蒔田教会、日本基督教団松戸教会、日本基督教団翠ヶ丘教会、日本基督教団目白教会 婦人会、日本基督教団元住吉教会、日本基督教団横浜磯子教会、日本基督教団横浜上原教会 婦人の会、日本基督教団横浜大岡教会、日本キリスト教会横浜海岸教会、日本基督教団横浜指路教会、日本基督教団横浜二ツ橋教会、日本基督教団六角橋教会

(学校関係)

青山学院初等部、青山学院幼稚園保護者会、厚木幼稚園、和泉短期大学、上星川幼稚園、かえで幼稚園、川崎境町教会附属福音幼稚園、鶴岡学院のびのびのば園、菊名愛児園、鶴沼めぐみルーテル幼稚園、国学院大学幼児教育専門学校、相模翠ヶ丘幼稚園、桜ヶ丘幼稚園、早苗幼稚園、田園江田幼稚園、ドレーパー記念幼稚園、横浜愛隣幼稚園、横浜三育幼稚園、捜真小学校、関東学院六浦小学校、横浜雙葉小学校、関東学院六浦中学校高等学校、横浜英和学院、横浜女学院中学高等学校、フェリス女学院中学校・高等学校バザー部門、フェリス女学院大学奨学会、呉竹鍼灸柔整専門学校、日本聖書神学校 学生自治会

(その他団体)

アंकベル・ジャパン(株)、安藤建設(株)横浜支店、(有)今村塗装工業、MJデザイン研究所、(株)オーチャー、(有)大富、(株)大山組建材、柏葉町内会、(株)藤機器製作所、神奈川県眼科医会、(株)神奈川クッキングサービス、(社)神奈川県鍼灸マッサージ師会、(株)協同ビルテック、コウズクリップカフェ、鷺山竹之丸町内会、(株)清光社、(株)泰山園、(株)ダスキン横浜、テクタイト(株)、東洋観光(株)、中区第三地区社会福祉協議会、東日本旅客鉄道(株)山手駅、(株)フーディング・パス、(有)増山住設、三浦藤沢信用金庫山元町支店、宮崎ピアノ工房、(有)ヤマキ文具店、横浜関内ライオンズクラブ、横浜訓盲学院同窓会四つ葉会、横浜ロータリークラブ、横浜山手ロータリークラブ、(株)吉田電機、(株)ランヒル

〔特別寄附金〕

おみずほ教育福祉財団

〔賛助金〕 4,046,102円

〔特別寄附金〕 600,000円

〔現物寄附〕

平成23年度理療科卒業生 (女子更衣室ベンチ1台)

公益財団法人ベルマーク教育助成財団 (携帯用拡大読書器1台)

〔合計〕 4,646,102円

〔その他寄贈品〕

(財)日本テレビ系列愛の小鳩事業団、公益財団法人アイメイト協会、社会福祉法人桜雲会、(株)オーチャー、春日主計範、池田侑子、川野太郎、協和発酵キリン(株)、NPO視覚障害者芸術活動推進委員会、(株)ジャパンビバレッジセントラル、浄土真宗本願寺派、鍼灸マッサージペンタ、公益財団法人すこやか食生活協会、社会福祉法人全国心身障害児福祉財団、(株)泰山園、田口謙吉、田口美津子、田中房子、TBSラジオ編成局、点字学習を支援する会、点友会、東京ガス(株)、認定NPO法人東京盲ろう者友の会、富田香(平和眼科)、(株)ニッポン放送、独立行政法人日本芸術文化振興会、日本放送協会、ねむの木学園、発砲印刷やまゆりの会、(株)パブラボ、毎日新聞、(株)南の風社、医療法人社団峯心会、孟学琳、NPO法人ユニバーサルデザイン絵本センター、楊和長、宗教法人霊波之会 横浜支部、(株)ロッテリア

〔ご招待〕

神奈川県遊技場共同組合/神奈川県福祉事業協会

ご協力をお願い

(平成25年度 賛助会員)

私どもの視覚障害教育にご理解いただき、ご支援下さる団体・個人の方々の賛助会員を募らせていただいております。よろしく申し上げます。

〔年会費〕 法人(1口)10,000円/個人(1口)1,000円(口数は問いません)

〔お支払い方法〕 ・郵便振替[加入者名]学校法人横浜訓盲学院(口座番号00200-5-40861)
・現金

〔その他〕 会費以外に寄附金も有難くお受けいたします。

〔お問合せ先〕 横浜訓盲学院 事務部 TEL.045-641-2626